

校報

第三百五十三號

昭和十年四月二十日

東京女子高等師範學校

敍任及辭令

學習院教授 古賀軍治

東京女子高等師範學校講師ヲ嘱託ス(四月本校) 東京女子高等師範學校教授(十日同)

依願講師嘱託ヲ解ク

東京女子高等師範學校講師ヲ嘱託ス(四月本校)

依願臨時植物室勤務嘱託ヲ解ク

東京女子高等師範學校講師ヲ嘱託ス(四月本校)

益岡敏子

宮下シグ

臨時植物室勤務ヲ嘱託ス(以上四月十五日本校)

(體育研究所技師兼東京高等
師範學校教授從五位勳六等)

佐々木 等

任第六臨時教員養成所教授兼東京女子高等師範學校教
授體育研究所技師

昭和十年度頭書學年ノ學級主任ヲ命ス(四月本校)
理科家事科第三學年 第六臨時教員養成所教授

體操家事科第一學年 同

昭和十年度頭書學年ノ學級主任ヲ命ス(四月本校)
理科家事科第一學年 同

昭和十年度頭書學年ノ學級主任ヲ命ス(四月養成所)
第二部部屬ヲ命ス(十九月文部省)

教員檢定委員會常任委員被仰付(十九月以上内閣)

彙

報

●文部省訓令第四號 四月十日官報ヲ以テ國體明徴ニ
關シ左記ノ通訓令アリタリ

方今内外ノ情勢ヲ稽フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大
義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的教養ノ完成ヲ期シ由
テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我が尊嚴ナル國體ノ本
義ヲ明徴ニシ之ニ基キテ教育ノ刷新ト振作トヲ圖リ以
テ民心ノ嚮フ所ヲ明ニスルハ文教ニ於テ喫緊ノ要務ト
スル所ナリ此ノ非常ノ時局ニ際シ教育及學術ニ關興ス
ル者ハ眞ニ其ノ責任ノ重且大ナルヲ自覺シ叙上ノ趣旨
ヲ體シ苟モ國體ノ本義ニ疑惑ヲ生ゼシムルガ如キ言説
ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ
自己ノ研讀ニ努メ子弟ノ教養ニ勵ミ以テ其ノ任務ヲ達
成セムコトヲ期スベシ

昭和十年四月十日

文部大臣 松田源治

●天長節拜賀式 四月二十九日午前九時三十分ヨリ徽
音堂ニ於テ天長節拜賀式ヲ舉行ス
五月四日(土)千葉縣下勝浦町へ遠足ヲ行フ但
遠足

當日雨天ノ際ハ中止シ平常ノ通授業ヲ行フ

○附屬高等女學校

●保護者懇話會 來ル四月二十五日(木)午前九時ヨリ
講堂ニ於テ保護者懇話會ヲ開ク當日授業ヲ休ム

●遠足 五月三日(金)千葉縣千葉市本千葉海岸ニ遠足
ヲ行フ但當日雨天ノ際ハ中止シ平通ノ通授業ヲ行フ

○附屬小學校

●事務分擔 昭和十年度事務分擔ヲ左ノ通定ム(○印
ハ主任ヲ示ス)

教務掛 ○吉田訓導

鷺山訓導

山本訓導

田代訓導

坂本訓導

寺谷訓導

有浦訓導

村重訓導

淺黃訓導

櫻井訓導

永堀訓導

田原訓導

黒木訓導

丹羽訓導

徳田訓導

瀬野尾訓導

仲田訓導

齋藤興助訓導

庶務掛

○山内訓導

玉村訓導

仲田訓導

齋藤英夫訓導

坂本訓導

會計掛

田代訓導

齋藤與助訓導

有浦訓導

岡田訓導

徳田訓導

瀬野尾訓導

學級擔任 昭和十年度學級擔任ヲ左ノ通定ム

第一部尋常科第一學年 黒木

第二學年 田原

第三學年 山本

第四學年 永坂

第五學年 本鷲

第六學年 田代

第七學年 丹羽

第八學年 有浦

第九學年 伸田

第十學年 村重

第十一學年 濑野尾

第十二學年 濑野尾

第十三學年 浅黃

第十四學年 訓導

第十五學年 訓導

第十六學年 訓導

第十七學年 訓導

第十八學年 訓導

第十九學年 訓導

第二十學年 訓導

第二十一學年 訓導

第二十二學年 訓導

第二十三學年 訓導

第二十四學年 訓導

第二十五學年 訓導

第二十六學年 訓導

第二十七學年 訓導

第二十八學年 訓導

第二十九學年 訓導

第三十學年 訓導

第三十一學年 訓導

第三十二學年 訓導

第三十三學年 訓導

第三十四學年 訓導

第三十五學年 訓導

第三十六學年 訓導

第三十七學年 訓導

第三十八學年 訓導

校報

第三百五十三號 昭和十年四月二十日

○附屬幼稚園

●保育實習科生徒組配當 附屬幼稚園ニ於ケル保育實習科生徒ノ第一期組配當ハ左ノ如シ

森の組 石井嘉代子

北村百合子

村岡

禎子

木藤富士子

川の組 石垣きみ

佐久間フミ

田中實枝

吉澤光子

木藤富士子

山の組 森の組 池の組

佐藤啓子

小倉和子

島澤良子

海の組 林の組 小島睦美

桂原幸子

酒井信子

瀬下美智

佐藤勝田四方子

佐藤由

山崎貴代

坂田美英子

佐藤啓子

富永文代

西出和

佐藤啓子

坂田美英子

佐藤久子

佐藤啓子

佐藤由

坂田美英子

佐藤啓子

佐藤由

坂田美英子